

(別紙2-1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年 1月24日

### 【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270401518		
法人名	有限会社 和敬会		
事業所名	グループホームたかき		
所在地	〒859-0117 長崎県諫早市高来町峰 179 番地		
自己評価作成日	平成22年11月21日	評価結果市町受理日	平成23年2月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	<a href="http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4270401518&amp;SCD=320">http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4270401518&amp;SCD=320</a>
--------------	---

### 【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目 6 番 5 号
訪問調査日	平成22年12月15日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

\*当ホームは決してゆとりのある人員体制でなく又、十分な設備状況ともいえないホームですが、職員はいろいろと工夫を重ねたりとみんなで協力してつくり上げています。2棟のそれぞれの個性をいかし、「我が家のようにゆったりとした日々を過ごせる」自分の親や又、自分も入所したいと思えるホームづくりを掲げて、毎日奮闘しつつがんばっています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

ホームは小高い丘の上に立ち、山や田畑の季節折々の景色が楽しめる見晴らしの良い所に位置しています。2ユニットからなるA棟、B棟では、それぞれ特性があり、ケア方針の目標に向かって日々努力されています。理念である「人と人とのつながりを大切にして、笑顔で寄り添い支えあい、やすらぎと誇りを持つ日々を」を職員全員で共有し、入居者や家族、地域の方々等みんなで支えあいながら、一人ひとりのペースに応じた入居者本位の視点から、その人らしく過ごして頂ける様に日々取り組まれています。入居者や職員の笑い声が、楽しく、和みある雰囲気を感じられます。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人と人とのつながりを大切に笑顔で寄り添い支えあいやすらぎと誇りを持つ日々をの理念に掲げている	設立時の理念を見直し、地域密着型に合わせた理念を職員全員で作られています。また理念が常に目に届く所に掲げられており、職員全員で共有しており、一人ひとり過ごしやすい、一緒に楽しい時間が送れるような支援に取り組まれています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常の交流はないが地区の空き缶拾いなどには参加している。	自治会に加入しており、地域の情報は十分に把握できています。地区の空き缶拾いなどにも参加されており、地域の方も季節の花や野菜などを持って来るなど、気軽に立ち寄ることができるように交流に努められています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	少しづつではあるが、まず地域の施設職員会議から出席をはじめた。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加されていない家族の報告がされていなかったの、報告配布に取り掛かった。	今年度より2ヶ月に1度会議を開催し、意見も活発に出ているようです。11月にAEDを使った救命講習が行われ、地域の方の参加もありました。会議を通し意見交換が積極的に交わされ、地域交流やサービス向上に繋がった場として活かされています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	密の連絡とまではいかないが、必要時には報告相談してもらっている。	推進会議の他、電話での相談や場合によっては直接、窓口に出向き助言や指導を受けられています。また月に訪問され、日頃からの情報交換が行われており連携が図られています。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の研修を受講し本人への危険がある場合家族の許可を得るようにしている（現なし）</p>	<p>方針にも拘束廃止を掲げており、玄関は夜間帯以外は施錠されていません。突発的に外へ出ようとされる方に対しては、職員同士が気配を察知しながら、入居者の思いをくみ取り、一緒に出掛けられたりと遮らない取り組みがなされています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ会議等で話し合い防止に努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今のところいないが、過去の対応経験あり。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に契約書を交わし説明している</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見書を設置しているがあまり利用されていない</p>	<p>家族の面会時に意見や要望を聴き、スタッフ会議で話し合い、入居者や家族の思いが反映できるように努められています。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議等で提案はしているが代表者に反映されていない</p>	<p>会議や申し送り時等に、職員の見解に傾聴されています。実際に備品の購入や勤務調整等、意見が取り入れられた事もあります。しかし限られた人員体制の中、研修の参加等が難しく、現状として十分に満足できていない感じがとれました。</p>	<p>職員のスキルアップしたいという意欲や、入居者とたくさん関われる時間を持ちたいという思いが、大きく感じられました。可能な限りの人員体制の検討や調整が出来るよう期待します。</p>

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>少しずつではあるが、代表者からの賞与向上の話はあるが、十分な把握とはいえない。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>協議会の研修や本人が希望する研修には参加しているが、進んでの取り組みはない。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会においての職場職員の話し合いに参加のみである。</p>		
<p>II 安心と信頼</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の希望を聞き安心してすごして頂くよう努めている</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族と相談し要望等聞くようにしている。面会時には、状況説明が出来る時間をとるようにしている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ケアマネを中心に職員が無理なく出来る支援に努めている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の希望を聞き支援している		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の本人に対しての気持ち、思い等くみとれるような会話からはじめるようにしている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方々協力を求めている。	家族の協力の下、馴染みの美容室利用や墓参り、その他外出等本人の意向に沿い継続的な交流が図れるよう支援されています。また買い物や外出先では、よく声を掛けて頂いたりと常日頃から交流がみられるようです。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者はおなじテーブルで食事したりお互い居室に行かれたりされている		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	見舞い葬儀には伺い又声もかけていただいています。		
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時に検討話し合いしている。	日頃の関わりの中で、一人ひとりの思いや希望を聴き把握に努められています。意思疎通が困難な方には、小さな変化にも気付けるよう、表情や細かなサインなどから本人の思いをくみ取り、職員や家族からの情報を共有しながら検討されています。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族の方々に話を聞いたりとし把握に努めている。</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>個人の状況把握にて、それぞれの過ごし方をしていただいている。</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族に希望を聞き、職員の意見アイデアを出し作成している</p>	<p>多方面からの意見が反映できるように、本人や家族、かかりつけ医から意見や要望を聴きとり、全職員で協議しケアマネージャーが作成されています。状態変化や気付きが見られたら、スタッフ会議にて検討・見直して現状に沿った介護計画を作成されています。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録や申し送り等利用し生かしている</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>職員体制が厳しい状況において出来る限りの支援を行うようにしている。</p>			
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>拘束等は行わず行動など阻止しないよう見守り・声かけしている。</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医がある方はそのまま利用して頂いたり事業所のかかりつけ医に変更される方もある</p>	<p>本人や家族が希望される医療機関に受診されており、受診は家族の協力の下、ケアマネジャーが同行されています。ホームの協力医は往診も可能で、常日頃より健康管理に努め、家族への状況報告も適切に行われています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員は居ないがケアマネが看護の資格がある為気づき等相談している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には見舞いに行き病院側と情報交換し早期退院に努める</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に家族と相談し家族とホームの意向を話し合っている</p>	<p>以前家族の協力の下、看取りをされた事がありますが、現在はホームの方針としては看取りの対応はされていません。入居時に家族と話し合い、ホームの意向を話し合われています。</p>	<p>入居時に取り交わした意思確認書のままである為、状態変化前の早い段階から本人や家族と話し合い、現段階でホームとして出来る支援を説明し、定期的に確認書を取り交わす仕組みを求めます。また今後、ホームとして体制を整えて行かれる事を期待します。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命講習を受け訓練している</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を行っている</p>	<p>年2回消防署の立会いの下、避難訓練が行われています。備蓄の検討もされていますが、現段階では整備までに至っていません。</p>	<p>ホームの立地条件より、風水害想定訓練も取り入れて頂く事を望みます。備蓄も整備できる体制を期待します。</p>

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った対応を心がけている	日常生活において、一人ひとりの気持ちをくんだ対応を常日頃より心掛けておられます。排泄の失敗時では、さり気ないフォローや言葉を掛け、本人の自尊心が傷付かれないような対応に配慮されています。	一人ひとりに合った対応を心がけていますが、来客時など誰が訪室されてもプライバシーを損なわない様な居室の配慮を期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話が飛んでしましますが、合わせながらの会話をします。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースに十分添い支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出、行事等はコーディネートしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の重度化によりあまりできない作業はして頂いている	一緒に買い物に行ったり、個人の力量に応じて調理の下ごしらえをされたりと、入居者が一緒になって食事が楽しめる場面作りを大切にされています。食後の片付けもお手伝いされる方が多く、役割・当番制を決められました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を記入したり食事以外にも水分補給をおこなっている		

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>一人でできない利用者には介助している</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>訴えのない利用者には時間見て声かけし誘導する支援をしている</p>	<p>個別の排泄表を作成し、排泄パターンの把握に努められています。訴えが困難な方には時間を見ながら言葉掛けをし、トイレでの排泄に繋げた支援がなされています。また失敗された時は、不安を取り除き次の自信に繋がられるような対応に配慮されています。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>献立を工夫したり3日以上出ていない時は下剤服用する</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>体調や本人の希望を聞き支援している</p>	<p>入浴時間を午後に設けられていますが、夜間帯の希望があれば可能との事です。気の合う入居者同士で入られる時もあり、個々の希望に応じて取り組まれています。拒否される方は時間帯をずらしたり、タイミングを見計らって本人の気分に合わせた対応がなされています。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人でゆっくりしたい利用者は自室で休んで頂く</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬確認し”何か違う”の変化の気付きはよくしていると思います。</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	買物ドライブ等にて外出するようにしている。		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	季節毎の花見やドライブを行っている	買物や散歩等日常的な外出の他、年間を通した季節ごとの外出支援が行われています。家に帰りたいと言われる方は、家族の協力の下、自宅までの送迎や本人の要望に沿った支援がなされています	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	入居者の重度化やトラブル防止の為所持している入居者はいない		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	希望があるときは、相手の承諾にて掛けています。		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	朝から掃除をし家庭的な感じだとおもいます。	落ち着いた照明と、さり気なく季節感を取り入れた和める雰囲気です。畳部屋もあり、各々ゆっくりと寛げる居住空間となっています。リビングの大きな窓から眺められる、山や田畑がとても印象的です。	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	季節的にこたつを置きテレビ鑑賞してもらったり各自個室で休まったりしている。		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みは入居時にいいと話しており、家族で準備してもらっている。	持ち込みは自由であり、本人が安心して過ごして頂けるよう馴染みの物を持って来られています。実際仏壇や家具等の持ち込みの他、家族の写真や使い慣れた物を持ち込まれ、一人ひとりが過ごしやすい環境作りに配慮されました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	現入居者状態においてはいいように思います。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にもあげているように人と人とのつながりを大事に安楽な日々をおくれるようつなげている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	なるべく交流して行きたいと思っているが外出が難しくなってきたりして年々交流ができなくなってきた		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	理解してもらえようしていきたい		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	去年とは違い職員全員で取り組んでいる為活かされてきていると思われる		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進委員会には必ず出席してもらいながら築けるよう努力している		

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践                  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組んでいるが夜間帯など職員1人での対応時などやむをえない時玄関・窓の施錠をする場合がある</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底                  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全職員が注意を払い努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用                  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>全職員が学ぶ機会は今のところないが活用できるように全員が学んでいきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得                  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>図っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映                  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>訪問時などを利用し意見や要望をきき反映させている</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映                  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議等でやっている</p>		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務状況は把握しているが1人1人が向上心を持って働けるような環境ではない</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修など最低限の受講はさせてもらっている</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の研修などに積極的に出席し取り組んでいると思う</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居時に本人の思いや要望を聞き一日も早くなれ安楽な日々を送れるように努めている</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時から訪問時には必ず近況報告やケアプランの説明し要望等を聞くように努めている</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>意思表示のできる人には要望や希望をきき対応している（できない人は家族）</p>		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	必ず本人の希望や思いを引き出しながら共有出来るようやっている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	訪問時には近況報告したり家族と外出する機会を作ってもらったり本人・家族・職員で支えていくよう努力している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中で地名・仕事を話題に入れながらやっている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性などを考えできるだけ利用者同士が交流できるようソファや食卓の位置や座る場所を提供している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院や他施設など退所された方々にはたまに面会や家族に会いに行くようにしている。外出先で出会ったら声かけしている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者からの要望意向にはその都度話を聞き家族への報告もしている困難な場合は職員の意見交換・家族より話をきいている		

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に家族本人より話を聞き全職員が把握できるようスタッフ会議で取り上げている</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>個人記録・申し送りノート・気づきノート等を活用しスタッフ会議での意見交換などで努めている</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族から訪問時要望や意見を聞きスタッフ会議の中でケアマネに同席してもらい意見や気づき等の内容とかかりつけ医よりの指示が出ている内容も計画に入れる</p>		
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録だけではなく申し送りノート、気づきノート等を活用しスタッフの意見交換などで上がった内容も見直しの際に入れる</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>併設のデイサービスを利用できるように取り組みたい。</p>		
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>今後やって行かなければと思っている</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>当ホーム入所前よりかかりつけ医のある利用者はそのまま受診してもらっている家族からの要望があった場合その都度対応している</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ケアマネ（看護師）に状態報告している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時やお見舞いの時情報交換している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族の意向を聞きかかりつけ医協力のもと全職員が理解し努めるようにしている。変化見られたときはドクターに報告し全職員が理解できるようにしている。ドクター・家族と相談し他施設への検討を行うことがある</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル・定期的な自主訓練をしているが全職員が十分な応急手当ができるとは言えない</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署協力のもと訓練をおこなっているが地域の方々への協力を働きかけなければならないと思っている</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	心がけてはいるが馴れ合いの声かけや言葉づかいになつてゐることもある
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援	日常の会話の中で利用者の気持ちを聞き取り支援に努めるようにしている
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそつて支援している	意思表示ができる利用者への対応は出来ているが出来ない利用者には出来ているとは言えないかも？
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	散髪も2ヶ月に1度来てもらっている。だいたいできていると思っている
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえなどはやってもらっているがだんだんとできなくなつてゐる
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態に合わせきざみ・ミキサー食などその都度対応している。食べた量水分量などは必ずチェックしている

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の口腔ケアを行っている。出来ない利用者には介助行い痛みなどで歯ブラシ使用できない時はスポンジ等イソジンでのうがいを行っている。入れ歯洗浄剤を使用（夜間）</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>訴え困難な場合は定時誘導。自立していても排便などで訴えある場合介助にはいる。状態に応じて日中はくパンツ夜間オムツで対応している</p>		
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>かかりつけ医の指示での調整や便の状態をみて調節をおこなっている。又水分摂取に注意している。食事は野菜を摂る様に工夫している。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>やや勤務上時間帯にあわせてしまいがないときもある。</p>		
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中居室に戻られ休まれている入居者もいる。夜・眠剤・安定剤利用されている方もおられる</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>病歴・服薬等を職員一人ひとりが理解できるよう努力している。又申し送りノートなどで病状変化や服薬変化を把握できるようにしている</p>		

48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日の片付けや洗濯物干し、たたみ等を楽しみにしておられるため出来るだけ手伝いが同じ入居者ばかりにならないようにしている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>以前は家族の方と墓参り買い物等に外出されている入居者もおられたが年齢的に難しくなっており最近ではほとんどない（健康状態が悪くなってきている）</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>以前は十分に説明して持っていたが最近では誰も持っておられない。又、申し出もない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>手紙のやりとりは以前されていた入居者も居られたが今はほとんどない。自分から電話されることもないが家族からかかってくる場合がある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとの装飾置物や好きなもの、写真などを飾っている</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者の状況に応じてソファ・テーブルなどの配置をしている</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	布団や毛布、タンス等を持ち込んでいた		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内手すりを設置している。一人ひとりに合わせ居室やトイレにも設置している		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)			1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)			1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
		○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
		○	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない